

<b>体育Ⅱ</b>		開講学年：第3学年	
担当：高杉 勝（高校教師）		開講学期：後期	
		単位数：1単位（15時間）	
		開講形態：実技	
		週割当時間：2～3時間	
分野 基礎分野 人間と生活・社会の理解			
学習目標			
1. スポーツを通して、リーダーシップや協調性・社会性を習得する。			
回数 及び時間	授 業 内 容	方 法	備 考
1 (2)	球技 その他	実技	
2 (2)	球技 その他	実技	
3 (2)	球技 その他	実技	
4 (2)	球技 その他	実技	
5 (2)	球技 その他	実技	
6 (2)	球技 その他	実技	
7 (3)	球技 その他	実技	
成績評価方法		出席状況・実技	
テキスト・参考書		なし	
その他			

<b>病態生理学Ⅵ 女性生殖器</b>		開講学年：第3学年	
担当：山田 純也（医師）		開講学期：前期	
		単位数：1単位 20時間（10時間）	
		*歯科・口腔疾患10時間と合わせて20時間	
		開講形態：講義	
		週割当時間：1時間	
分野 専門基礎分野 疾病の成り立ちと回復の促進			
学習目標			
1. 系統別疾患の病態と治療、検査について理解することで、健康・疾病に関する観察力・判断力を養い、看護に活用できる。			
回数 及び時間	授 業 内 容	方 法	備 考
1 (1)	女性生殖器の構造と機能	講義	
2 (1)	症状とその病態生理	講義	
3 (1)	診察・検査	講義	
4 (1)	治療・処置・疾患の理解	講義	
5 (2)	臓器別疾患（子宮・卵巣）	講義	
6 (2)	臓器別疾患（骨盤内炎症・不育症）	講義	
7 (2)	機能的疾患（月経異常・更年期・不妊症）	講義	
8 (1)	まとめ	試験	
成績評価方法		筆記試験	
テキスト・参考書		末岡 浩他：専門分野Ⅱ 成人看護学〔9〕女性生殖器，医学書院。	
その他			

病態生理学VI 歯科・口腔		開講学年：第3学年 開講学期：前期 単位数：1単位 20時間（10時間） *女性生殖器疾患10時間と合わせて20時間 開講形態：講義 週割当時間：1時間	
担当：宮島 久（歯科医師）			
分野 専門基礎分野 疾病の成り立ちと回復の促進			
学習目標 1. 系統別疾患の病態と治療、検査について理解することで、健康・疾病に関する観察力・判断力を養い、看護に活用できる。			
回数 及び時間	授業内容	方法	備考
1 (1)	歯科概論	講義	
2 (1)	歯・口腔の構造と機能	講義	
3 (2)	歯・口腔疾患で生じる主な症状	講義	
4 (2)	歯・口腔疾患の主な検査と治療法	講義	
6 (2)	歯・口腔疾患の診療	講義	
8 (2)	口腔ケア演習	講義	
9 (1)	まとめ	試験	
成績評価方法 筆記試験			
テキスト・参考書 道徳一他：専門分野II 成人看護学⑭ [第27巻] 歯・口腔，メヂカルフレンド社。			
その他			

環境と健康 公衆衛生		開講学年：第3学年 開講学期：前期 単位数：2単位 30時間 開講形態：講義 週割当時間：2時間	
担当：佐藤 隆子（看護師、保健師、助産師） 国立病院、保健福祉事務所等で33年の 実務経験			
分野 専門基礎分野 健康支援と社会保障制度			
学習目標 1. 健康の現状や健康を保持するための法令制度や、健康維持の増進を計るための保健活動・サービス提供機関について理解する。			
回数 及び時間	授業内容	方法	備考
1 (2)	公衆衛生の理念（公衆衛生の目的とその方法～健康の概念と主体的健康観）	講義	
2 (2)	〃（権利とPHC）	講義	
3 (2)	公衆衛生の技術（疫学と健康指標）	講義	
4 (2)	医療の動向と医療保障（医療の動向～医療保障制度と医療経済）	講義	
5 (2)	公衆衛生と国際化（公衆衛生と国際化～情報公開と生命倫理）	講義	
6 (2)	地域保健（地域と健康～地域保健）	講義	
7 (2)	母子保健（健やか親子～子育てと家族）	講義	
8 (2)	母子保健（リプロダクティブヘルスノライツ～ジェンダー）	講義	
9 (1)	まとめ	試験	
10 (2)	学校保健（学校保健の理念と目的～養護教諭と保健室の機能）	講義	
11 (2)	成人、老人保健（成人、老人保健～生活機能と保健活動）	講義	
12 (2)	精神保健（精神保健福祉法と障害者プラン～精神保健福祉の概念と施策の現状）難病保健	講義	
13 (2)	環境とは 生活環境の保全（2）	講義	
14 (2)	生活環境・産業保健（労働者を取り巻く状況）	講義	
15 (2)	産業保健（労働者の健康状態～産業保健に期待される活動） 感染症・危機管理（感染法）	講義	
16 (2)	感染法・危機管理（危機管理～災害保健）	講義	
17 (1)	まとめ	試験	
成績評価方法 筆記試験			
テキスト・参考書 芦野由利子他：専門基礎分野 健康と社会保障制度 公衆衛生，医学書院。 国民衛生の動向，厚生統計協会。			
その他			

成人看護学方法論Ⅴ 女性生殖器看護		開講学年：第3学年 開講学期：前期 単位数：1単位30時間（10時間） *感覚器看護10時間、血液看護10時間と合わせて30時間 開講形態：講義 週割当時間：2時間	
担当：根本 佳奈（専任教員） 会津中央病院で13年の実務経験			
分野 専門分野Ⅱ 成人看護学			
学習目標 多様な役割を担う成人期にある対象を総合的に理解し、そして対象に起きている健康問題を多角的に捉え、個々人に適した看護を提供できるよう、成人看護の意義と課題について理解する。			
回数 及び時間	授業内容	方法	備考
1 (2)	診察の介助における看護 性周期と性ホルモン 月経異常患者の看護	講義	
2 (2)	月経随伴症状のある患者の看護 グループワーク「6項目」 ①性感染症とその治療・予防、帯下掻痒感のある患者の看護 ②子宮筋腫・子宮がんの病態と治療、その看護 ③不妊症とは、その看護 ④更年期障害とその看護、自律神経失調症・不定愁訴のある患者の看護 ⑤萎縮性膀胱炎・尿もれのある患者の看護 ⑥外性器・内性器の手術を受ける患者の看護	講義	
3 (2)	グループワーク	講義	
4 (2)	発表①～③ まとめ	講義	
5 (2)	発表④～⑥ まとめ	講義	
6 (1)	まとめ	試験	
成績評価方法 筆記試験			
テキスト・参考書 医学書院 系統看護学講座 基礎分野Ⅱ 成人看護学 女性生殖器			
その他			

成人看護学方法論Ⅴ 感覚器看護		開講学年：第3学年 開講学期：前期 単位数：1単位30時間（10時間） *女性生殖器看護10時間、血液看護10時間と合わせて30時間 開講形態：講義 週割当時間：2時間	
担当：高橋 とも子（専任教員） 会津中央病院で9年の実務経験			
分野 専門分野Ⅱ 成人看護学			
学習目標 多様な役割を担う成人期にある対象を総合的に理解し、対象に起きている健康問題を多角的に捉え、個々人に適した看護を提供できるよう、成人看護の意義と課題について理解する。			
回数 及び時間	授業内容	方法	備考
1 (1)	皮膚科看護 皮膚の構造 症状 治療法	講義	
2 (1)	アトピー性皮膚炎患者の看護	講義	
3 (2)	熱傷・褥瘡患者の看護・過去問	講義	
4 (1)	眼科看護 検査時の看護 白内障患者の看護	講義	
5 (1)	糖尿病性網膜症 網膜剥離術後の看護	講義	
6 (1)	緑内障患者の看護 過去問	講義	
7 (1)	耳鼻科看護 鼻出血 副鼻腔炎患者の看護	講義	
8 (1)	聴力障害のある患者の看護	講義	
9 (1)	めまいのある患者の看護 過去問	講義	
10 (1)	まとめ	試験	
成績評価方法 筆記試験			
テキスト・参考書 メジカルフレンド社 成人看護学⑫⑬ 皮膚/眼 耳鼻咽喉/歯・口腔			
その他			

<b>成人看護学方法論Ⅴ 血液看護</b>		開講学年：第3学年 開講学期：前期 単位数：1単位30時間（10時間） *女性生殖器看護10時間、感覚器看護10時間、と合わせて30時間 開講形態：講義 週割当時間：2時間	
担当：渡部 裕美子（専任教員） 会津中央病院で8年の実務経験			
分野 専門分野Ⅱ 成人看護学			
学習目標 多様な役割を担う成人期にある対象を総合的に理解し、そして対象に起きている健康問題を多角的に捉え、個々人に適した看護を提供できるよう、成人看護の意義と課題について理解する。			
回数 及び時間	授業内容	方法	備考
1 (1)	血液の機能と成分 患者の特徴	講義	
2 (1)	主要症状のある患者の看護（貧血）	講義	
3 (1)	主要症状のある患者の看護（出血傾向）	講義	
4 (1)	主要症状のある患者の看護（易感染）	講義	
5 (1)	造血器腫瘍患者の看護 化学療法の主副作用対応	講義	
6 (1)	白血病患者の事例を用いて アセスメント 問題点の抽出 計画立案	講義	
7 (1)	造血器腫瘍患者の看護（悪性リンパ腫） 放射線治療における看護	講義	
8 (1)	造血幹細胞移植 移植前の患者の看護	講義	
9 (1)	移植後の患者の看護	講義	
10 (1)	まとめ	試験	
成績評価方法 筆記試験			
テキスト・参考書 医学書院 系統看護学講座 基礎分野Ⅱ 成人看護学 血液・造血			
その他			

<b>精神看護学方法論Ⅱ 精神看護学</b>		開講学年：第3学年 開講学期：前期 単位数：1単位30時間 開講形態：講義 週割当時間：2～4時間	
担当：長岡 由浩（看護師） 会津中央病院、会津西病院で22年の実務経験			
分野 専門分野Ⅱ 精神看護学			
学習目標 1. 主な精神障害、精神症状の看護について理解する。 2. 精神科の各主治療法とその看護について理解する。 3. 精神科における法律と現状・課題について理解する			
回数 及び時間	授業内容	方法	備考
1 (2)	精神看護とは、歴史からみた精神科看護	講義	
2 (2)	精神科における法律・行動制限	講義	
3 (2)	精神障害者の理解・接触法・よいコミュニケーション	講義	
4 (2)	精神科における観察とその意味	講義	
5 (2)	精神科における事故	講義	
6 (2)	精神科の記録（プロセスレコード）	講義	
7 (2)	家族心理、社会復帰、地域医療、ACT	講義	
8 (2)	症状と看護	講義	
9 (2)	症状と看護	講義	
10 (2)	症状と看護、検査・診察時の看護	講義	
11 (2)	症状別看護のまとめ	講義	
12 (2)	急性期・認知症・依存症・てんかんの看護	講義	
13 (2)	統合失調症の看護	講義	
14 (2)	気分障害の看護	講義	
15 (2)	パニック障害・境界型人格障害の看護 精神科リハビリ	講義	
16 (1)	まとめ	試験	
成績評価方法 筆記試験			
テキスト・参考書 佐藤壹三 他：新体系看護 看護学全集精神看護学②精神障害をもつ人の看護、メジカルフレンド社			
その他			

<b>成人看護学Ⅱ実習</b> 担当：本田 めぐみ（専任教員） 会津中央病院で13年の実務経験		開講学年：第3学年 開講時期：前期 単位数：2単位 90時間 開講形態：臨地実習 週割当時間：30～37.5時間	
分野 専門分野Ⅱ 臨地実習			
目的 急性期の患者の特徴を理解し、看護計画を立案・実践・評価・修正できる。			
目標 1) 急性期の看護を理解して関わり方を理解できる。 2) 経過別の各期に起こり得る危機的な状況を理解して指導を受けながら、看護を実施できる。 2) 成人の生活様式に応じた援助のあり方を理解できる。 3) 受け持ち患者を通して、経過別、主要症状別、治療処置別看護について学ぶ。 4) 慢性期にある患者を受け持ち、継続看護について理解できる。 5) 回復期にある患者のリハビリテーション看護について理解できる。			
回数 及び時間	実習内容	方法	備考
1 (90)	病院で患者を1名受け持ち、看護過程の展開を行う	実習	
実習施設 会津中央病院 病棟			
成績評価方法 出席状況、実習態度、実習記録などのより総合的に評価する。			
テキスト・参考書 指定しない、各自、関連する文献を活用する。			
その他			

<b>成人看護学Ⅲ実習</b> 担当：本田 めぐみ（専任教員） 会津中央病院で13年の実務経験		講学年：第3学年 開講時期：前期 単位数：2単位 90時間 開講形態：臨地実習 週割当時間：30～37.5時間	
分野 専門分野Ⅱ 臨地実習			
目的 終末期の患者の特徴を理解し、看護計画を立案・実践・評価・修正できる。			
目標 1) 終末期の看護を理解して関わり方を理解できる。 2) 経過別の各期に起こり得る危機的な状況を理解して指導を受けながら、看護を実施できる。 3) 成人の生活様式に応じた援助のあり方を理解できる。 4) 受け持ち患者を通して、経過別、主要症状別、治療処置別看護について学ぶ。 5) 患者の個別性を重視した看護活動が実践できる。			
回数 及び時間	実習内容	方法	備考
1 (90)	病院で患者を1名受け持ち、看護過程の展開を行う	実習	
実習施設 会津中央病院 病棟			
成績評価方法 出席状況、実習態度、実習記録などのより総合的に評価する。			
テキスト・参考書 指定しない、各自、関連する文献を活用する。			
その他			

<b>老年看護学Ⅱ実習</b> 担当：堤 千恵（専任教員） 福島県立会津総合病院他で32年の実務経験		開講学年：第3学年 開講時期：前期 単位数：2単位 90時間 開講形態：臨地実習 週割当時間：30～37.5時間	
分野 専門分野Ⅱ 臨地実習			
目的 老年期にある患者の特徴と健康レベルに応じた看護を理解し、看護計画を立案、実施、評価、修正できる。			
目標 1) 受け持ち患者の健康障害の複雑さ、多様性を理解し、それに応じた援助ができる。 2) 受け持ち患者および家族がソーシャルサポートシステムを活用できるよう働きかけることができる。 3) 受け持ち患者の生活信条、信念、価値観を尊重した行動がとれる。			
回数 及び時間	実習内容	方法	備考
1 (90)	病院で患者を1名受け持ち、看護過程の展開を行う	実習	
実習施設 会津中央病院 病棟			
成績評価方法 出席状況、実習態度、実習記録などのより総合的に評価する。			
テキスト・参考書 指定しない、各自、関連する文献を活用する。			
その他			

<b>小児看護学実習</b> 担当：高橋 とも子（専任教員） 会津中央病院で9年の実務経験		開講学年：第3学年 開講時期：前期 単位数：2単位（90時間） 開講形態：臨地実習 週割当時間：30～37.5時間	
分野 専門分野Ⅱ 臨地実習			
実習目標 養護学校実習・・・1. さまざまな障がいのある小児の生活状況を知る。 2. 小児が受けている専門的援助を知る。 保育所実習・・・1. 小児との関わりを通し、健康な小児の成長発達を理解する。 クリニック実習・1. 外来診療を必要とする看護の方法を理解する。 病棟実習・・・1. 小児の経過別看護、主要症状別看護、治療処置別看護を理解する。 2. 患児の個別性を考えた看護計画を立案、実践する。 3. 患児を通して継続看護（退院指導）を理解する。			
回数 及び時間	実習内容	方法	備考
1 (15)	・小児に望ましい環境について ・さまざまな障がいのある小児の成長発達を促すような援助のあり方 ・一人一人の小児の個性を尊重した対応の仕方	実習	
2 (30)	・成長発達段階に合わせた日常生活の援助方法 ・成長発達段階に合わせた言葉かけ、対応の仕方 ・成長発達段階に合わせた遊びの工夫 ・小児が安全に過ごせる環境調整の仕方 ・小児の個性を尊重した対応の仕方	実習	
3 (15)	・小児外来の環境と機能 ・患児の症状や成長発達に応じた対応の仕方 ・診察の準備・介助・後始末の仕方 ・外来で行われる処置・検査・治療の介助 ・小児に適応される補助・助成の理解	実習	
4 (30)	・患児の成長発達や健康障害に応じた日常生活の援助方法 ・看護に必要な基本技術（与薬・検査・処置など） ・小児及び家族への日常生活指導、継続看護の必要性 ・患児および家族への日常生活指導、継続看護の必要性を理解した看護	実習	
実習施設 県立会津支援学校 つるが保育園 いづかファミリークリニック 会津中央病院			
成績評価方法 実習に伴う学習、記録、レポート、実習態度を総合的に評価する			
その他			

<b>母性看護学実習</b>		開講学年：第3学年 開講時期：前期 単位数：2単位 90時間 開講形態：臨地実習 週割当時間：30～37.5時間	
担当：根本 佳奈（専任教員） 会津中央病院で13年の実務経験			
分野 専門分野II 臨地実習			
<p>目的 各期の母性および新生児に対して適切な看護活動が実践できる。</p> <p>目標 1) 妊・産・褥婦・新生児の正常な経過を把握した看護計画を立案し実践できる。 2) 疾患を持つ妊・産・褥婦及び異常分娩に対する看護について理解する。 3) 妊・産・褥婦の受け持ちを通して継続看護を理解する。</p>			
回数 及び時間	実習内容	方法	備考
1 (90)	病院で患者を1名受け持ち、看護過程の展開を行う	実習	
<p>実習施設 会津中央病院 病棟</p> <p>成績評価方法 出席状況、実習態度、実習記録などのより総合的に評価する。</p> <p>テキスト・参考書 母性看護学（2）母性看護学各論（医学書院） 周産期ケアマニュアル（医学芸術社）</p> <p>その他</p>			

<b>精神看護学実習</b>		開講学年：第3学年 開講時期：前期 単位数：2単位 90時間 開講形態：臨地実習 週割当時間：30時間	
担当：村岡 由利枝（専任教員） 会津中央病院他施設等で14年の実務経験			
分野 専門分野II 臨地実習			
<p>目的 精神に障害のある対象を理解し、精神看護の実践に必要な基礎的能力を養う</p> <p>目標 1) 精神に障害のある対象を理解できる。 2) 精神科病棟の治療環境と看護師の役割が理解できる。 3) 精神の障害のある対象に対して、必要な看護援助が理解できる。 4) 精神医療の現状について考え、社会資源の活用について理解できる。 5) 精神に障害のある対象との関わりを通して、自己洞察ができる。</p>			
回数 及び時間	実習内容	方法	備考
1 (90)	病院で患者を1名受け持ち、看護過程の展開を行う	実習	
<p>実習施設 会津西病院メンタルケア</p> <p>成績評価方法 出席状況、実習態度、実習記録などのより総合的に評価する。</p> <p>テキスト・参考書 指定しない、各自、関連する文献を活用する。</p> <p>その他</p>			

<b>看護管理</b> 担当：落合 直美（看護師） 会津中央病院で34年の実務経験 二瓶 キヨ子（専任教員） 会津中央病院で12年の実務経験		開講学年：第3年 開講学期：前期 単位数：1単位15時間（落合5H・二瓶10H） 開講形態：講義 週割当時間：1時間	
分野 統合分野 看護の統合と実践			
学習目標 1. 看護の対象に質の良いサービスを提供するために必要な知識を理解する。 2. 看護のリーダーシップやメンバーシップ・マネージメントシップを身につける。			
回数及び （時間）	授 業 内 容	方法	備考
1（2）	看護管理とは、看護におけるマネジメント	講義	
2（1）	看護管理の変遷 看護の定義	講義	
3（1）	看護の法的責任・看護業務	講義	
4（1）	医療制度	講義	
5（1）	ストレスマネジメント・組織マネジメント	講義	
6（1）	ケアのマネジメントと看護職の機能	講義	
7（1）	看護基準・看護手順について	講義	
8（1）	患者の権利尊重 安全管理	講義	
9（1）	医療事故・院内感染と管理	講義	
10（1）	災害と看護管理	講義	
11（1）	看護職の協働 他職種との協働	講義	
12（1）	情報管理	講義	
13（1）	協働のためのマネジメント 情報マネジメント	講義	
14（1）	サービス評価	講義	
15（1）	まとめ	講義	
16（1）	試験	試験	
成績評価方法 筆記試験 テキスト 別巻8 看護管理 医学書院 その他			

<b>災害看護</b> 担当：角田 亮（看護師） 会津中央病院で11年の実務経験		開講学年：第3学年 開講学期：前期 単位数：1単位15時間 開講形態：講義・演習 週割当時間：1～2時間	
分野 統合分野 看護の統合と実践			
学習目標 1. 災害など特殊な状況の中で人々の生命や健康を支援するための基礎的知識を養う。 2. 災害時における人々の心理状況が理解できる能力を身につける。			
回数及び 時間	授 業 内 容	方法	備考
1（2）	災害の定義 分類	講義	
2（1）	災害の歴史と医療の現状	講義	
3（2）	救急医療と災害医療	講義	
4（2）	トリアージ	講義	
5（2）	看護師の役割	講義	
6（2）	対象別看護	講義	
7（2）	心のケア（PTSDなど）	講義	
8（2）	演習（1例）災害時のトリアージと救急医療	演習	
9（1）	まとめ	試験	
成績評価方法 筆記試験・レポート テキスト 看護の統合と実践〔3〕災害看護学・国際看護学 医学書院 その他 救急看護と連携を図る。			

<b>臨床看護学演習</b>		開講学年：3年 開講学期：後期 単位数：1単位15時間 開講形態：演習 週割当時間：5～8時間	
担当：水下 明美（専任教員） 会津中央病院で6年の実務経験			
分野 統合分野 看護の統合と実践			
学習目標 1. 複合課題を通して、知識・技術の統合と総合的な判断を学び、臨床実践能力を養う。			
回数 及び時間	授 業 内 容	方 法	備考
1 (3)	オリエンテーション 採血デモンストレーション	演習	
2 (2)	採血練習	演習	
3 (3)	採血演習	演習	
4 (1)	点滴静脈内注射デモンストレーション	演習	
5 (2)	点滴静脈内注射練習	演習	
6 (2)	点滴静脈内注射演習	演習	
7 (4)	多重課題演習	演 習	
8 (2)	多重課題まとめ	グループワーク	
成績評価方法 レポート・実技から評価表を用いて評価			
テキスト 基礎看護技術Ⅰ・Ⅱ 医学書院			
その他			

<b>在宅看護論実習</b>		開講学年：第3学年 開講学期：前期 単位数：2単位（90時間） 開講形態：臨地実習 週割当時間：30～37.5時間	
担当：水下 明美（専任教員） 会津中央病院で6年の実務経験			
分 野 統合分野 臨地実習			
実習目標 保健福祉事務所実習 保健福祉事務所の機能、役割を理解し、地域で生活する人々の健康保持、増進、疾病予防のための援助を理解する。 地域包括支援センター実習／介護老人保健施設実習／通所介護施設 在宅療養者とその家族への援助の方法を学ぶ。 訪問看護ステーション実習 在宅看護の現状と対象について理解する。 在宅看護の役割と援助について理解する。			
回数 及び時間	実 習 内 容		実習施設
1 (7.5)	1 事業概要 2 予防業務 3 関連機関との連携		保健福祉事務所
2 (22.5)	1 役割、機能について理解する。 2 入院生活から在宅への移行を円滑にするために準備について理解する。 3 これからの療養生活について患者と家族が知識を得て理解を深めるための指導について理解する。 4 社会資源の活用について理解する。 5 健康の保持増進への指導について理解する。 6 関連機関とその連携について理解する。		第5地域包括支援センター ライフケア鶴賀 枝雪零苑デイサービスセンター
3 (60)	1 機能と役割について理解する。 2 対象に応じた看護、指導、自立への援助が看護者とともにできる。 3 介護の仕方や看護上の問題を対象と家族に認識させる方法を理解する。 4 社会資源の活用、関係機関との連携について理解する。 5 家族の精神的な支えと健康の保持増進への指導の方法を理解する。		会津中央訪問看護ステーション
実習施設	会津保健福祉事務所 会津若松市第5地域包括支援センター ライフケア鶴賀 枝雪零苑デイサービスセンター 会津中央訪問看護ステーション		
成績評価方法	実習に伴う学習、記録、レポート、実習態度を総合的に評価する		

<b>総合実習</b> 担当：水下 明美（専任教員） 会津中央病院で6年の実務経験		開講学年：第3学年 開講時期：後期 単位数：2単位 90時間 開講形態：臨地実習 週割当時間：30～37.5時間	
<b>分野</b> 統合分野 臨地実習			
<b>目的</b> 既習の各実習を元に知識・技術・態度を統合し、看護連続性や継続性を学び、実践能力を身につける			
<b>目標</b> 1) 看護管理について学び、保健医療チームにおける看護の役割と機能を理解する。 2) 複数を受け持つ実習を通し、自己の知識や技術を統合して連続的に看護場面に適応ができる。 3) コーディネーターの役割と業務を理解する。 4) 夜間帯実習を行い看護が24時間通して様々な場面に有していることを理解する。			
<b>回数 及び時間</b>	<b>実習内容</b>	<b>方法</b>	<b>備考</b>
1 (90)	1.複数の患者の受け持ち(多重課題)の経験を通し、報告/連絡/相談の方法や、時間内業務の遂行方法、対象に有った看護技術の選択方法など、看護の継続性・効率性について理解する。 2.コーディネーター業務を経験し、保健医療チームにおける役割と責任について学ぶ。 3.夜間実習を経験し、24時間継続して患者と関わることの意義を理解する。  [ 20:00～翌朝 9:00 ] 仮眠あり	実習	
	解剖学実習		
<b>実習施設</b> 会津中央病院 病棟 福島医大解剖学講座			
<b>成績評価方法</b> 出席状況、実習態度、実習記録などのより総合的に評価する。			
<b>テキスト・参考書</b> 指定しない、各自、関連する文献を活用する。			
<b>その他</b>			